



## 9月定例会で議員になって、初の一般質問予定!

9月に開催される定例議会にて、議員になって初めての一般質問を行うことになりました。これまで多くの自治体で議会対応研修の講師をしてきましたので、逆の立場になり少し戸惑っているところがあります。さて、本会議における一般質問時間は、20分と決められています。この短い時間に質問できる質問数は、4〜5問ぐらいでしょう。非常に限られているので、慎重に厳選して質問を行う必要があります。

今、考えている質問は、以下の通りです。

- 京田辺市に府が所有する約60ヘクタールの土地利用と、それに伴う京都府の構想について
- 宇治田原町の307号線バイパスである山手線に関する、これからの構想とスケジュールについて
- 和束町と宇治田原町を結ぶ京都府道62号宇治木屋線の開発に関して
- 京都府立高等学校の教育に対する構想について
- 井手町に着工予定の養護学校建設について

これらの質問に対する私の考えですが、土地の有効利用に関して、研究所を誘致しても、税金の歳入、そして雇用に関して確保が

難しいと思われます。そこで、i p s細胞など使った先進的で数十年先まで有望な医療産業を誘致する必要があると考えています。また、道路に関して、交通渋滞をなくすだけの道路を作るのではなく近隣の市町村における、経済効果、防災的、過疎地対策などの観点で道路整備を行う必要があると思います。教育に関しては、京都市立高等学校のように文武ともに優秀な学校を勧誘し、教育を進める必要があると思います。これらの私の考えを含めて質問内容を考え質問したいと思います。

予定している質問以外にも、福祉、道路、情報管理など多くの分野で府の方針を聞きたいこともあり、また皆様のご意見も参考にさせていただきたいと思っています。9月まで少し時間があるので、優先する項目を精査していきたいと思っています。また、こんなことを府に聞いて欲しいと思われることがありましたら、ぜひお知らせ頂きたいと思っています。お待ちしております。

### Voters of voice 有権者の声

【第1回】 宇治田原町 上田 明男さん

去る7月24日付けの洛南タイムズで、「『山城』は府平均下回る」との見出しで、学力診断テストの報道がされていました。

翌日、府教育委員会のホームページをチェックしましたが、すでに削除されていました。隠せば済む問題ではないだろうと思います。

なぜ低い結果になったのか?簡単に原因が判明するわけではないのですが、教育関係者の真摯な自己批判が必要であろうと思います。

「校長が悪い」「担任が悪い」といった犯人探しをしても意味はありません。

ただ、家庭の経済力の差が学力に影響しているならば、困った事態だと痛感しています。

北川たかし議員の府議会文化・教育委員会での活躍を期待しています。

### 亀岡の京都スタジアム(仮称)建設について

建設予算は、議会において了承されました。第一次工事の総額予算は、154億円となっています。この建設方法は、デザインビルド方式で、設計など修正しながら、建設する方法をとっています。この方式のメリットは、設計が変更しやすく、良いものが建設できることですが、デメリットは、建設費が膨らむ可能性が大きいことです。今、話題になっている新国立競技場と少し経緯は違いますが、同じように経費に関して、膨らむ可能性が指摘されています。また、建設の条件として、11月の第三者委員会で、天然記念物であるアユモドキの生態状況によって建設が大きく変更される可能性があります。



北川たかし事務所へ、お気軽にお立ち寄りください

皆さまのご意見・ご要望など聞かせてください。

北川たかし事務所 Takashi Kitagawa office

〒610-0313 京都府京田辺市三山上谷浦19-1 マンション竹長1F(有)竹長内

TEL.0774-62-7889 FAX.020-4664-2587

office@kitagawatakashi.net

http://www.kitagawatakashi.net



## 京都府議会議員

〈京田辺市・綴喜郡 選出〉

Takeshi Kitagawa Activities Report

# 北川たかし 府政活動レポート

[ きたがわ 剛司 ]

創刊号  
2015.08



### プロフィール

京田辺市三山木で生まれる/奈良育英高校 卒/大阪電気通信大学 工学部 卒/神戸大学大学院 経営学研究所 修了/(株)富士通 神戸エンジニアリング 入社/(株)Office Ties 代表取締役 就任【有】竹長/流通科学大学 非常勤講師 ラグビー部監督/全日農 京田辺市支部 委員長/関西大学 非常勤講師/NPO法人 幸せイキキ子ども教育研究所副代表理事/京都府議会議員【資格】教育カウンセラー/産業カウンセラー/米国CTIコーチング(CPCC)など【家族】母、妻、子ども2人【趣味】スキューバダイビング/ラグビー

発行 北川剛司

〒610-0313 京都府京田辺市三山上谷浦19-1 マンション竹長1F(有)竹長内 TEL.0774-62-7889 FAX.020-4664-2587



## ごあいさつ

～皆さんの声を府政に反映させるために～

当初は、京田辺市議に立候補予定でしたが、急遽、京都府議会議員に挑戦する事になり皆様にはご迷惑をおかけしました。短い準備期間、知名度が無い状態で非常に厳しい選挙戦でしたが、府議会議員に初当選する事ができました。これからは、府議会議員として京都府の発展のために尽くしたいと思います。

京都府には、教育に適した自然環境があり、教育的観点で整備することで充実した教育を行うことができると考えています。そこで、これまでの実務経験を活かし、10年、20年後を見すえた教育環境を提案したいと思います。

少子高齢化が進む中、介護を必要とする高齢者に向けて、住みなれた地域で生涯を安全安心に暮らせるように在宅介護、在宅診

療の充実に努めます。また介護をできるだけ必要としなくていいよう、健康であり続ける為の活動を支援します。

近年、地球の気候変動の影響によると思われる自然災害が増加傾向にあります。京田辺市、井手町、宇治田原町でも、災害に対する河川や山林などの整備を行うとともに、市町村をまたぐ危機管理体制・能力を強化していく必要があります。

京都府南部における環境整備に関しては、府が所有する京田辺市の土地の有効利用、井手町を縦断する木津宇治線の道路整備、宇治田原町の307号のバイパスである山手線の整備を府に提案調整を行っていく予定です。

府民の皆さんの視点に立って、府民の皆さんの声を府政に反映させるよう全力を尽くしますので、よろしくお願ひします。

### 政治の原点に戻り

人民の、人民による、  
人民のための政治

government of the people,  
by the people, for the people

を志します。

京都府議会議員 北川剛司

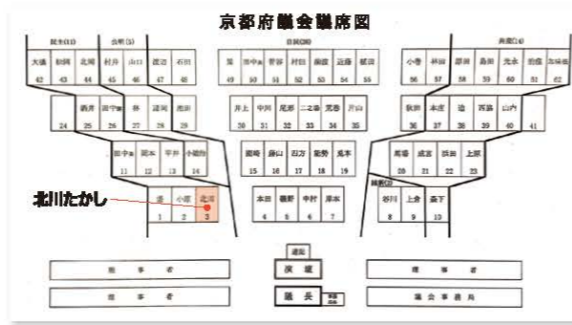




議員活動初めての  
6月通常議会在、  
6月18日から始まり  
7月7日に終了しました。  
議会運営に関して、思ったことを報告します。

### 初めての議会について

本議会の運営ですが、議会運営委員会で話し合わせ、会派毎に持ち時間が決められ運営されます。各会派代表質問として、一人約50分程度、そして一般質問として、一人約20分程度の質問時間が割り当てられます。これは仕方がないことですが、ここでも国会と同様に数の論理で運営されています。私の所属する民主党・府民クラブ京都府議会議員団は、代表質問が1人、一般質問が3人に割り当てられ本会議が進められました。各会派代表質問の割り当ては、民主党1名、自民党3名、共産党1名、公明党1名、維新の党0名となっています。また、一般質問に関しての割り当ては、民主党3名、自民党5名、共産党3名、公明党1名、維新の党0名となっています。やはり会派に所属する議員の人数に比例します。各会派の構成ですが、自由民主党京都府議会議員団28名、日本共産党京都府議会議員団14名、民主党・府民クラブ京都府議会議員団11名、公明党京都府議会議員団5名、維新の党京都府議会議員団2名で構成されています。この構成を見ていただければお分かりの通り、民主党の会派は、第3会派です。会派所属議員の多い時は、16名が所属していましたが、今は11名と少なくなっています。この会派構成は、大きな意味を持ちます。例えば、質問時間に関しても、会派毎の人数比で割り当てられるので必然的に民主党は、時間が短くなります。そして、いろんな打ち合わせの席順も共産党の次に座ることになってしまいました。また、各委員会においても、共産党の議員の数が多くなり、力が少し強くなっています。議会での議決ですが、今の国会と同様に自民党と公明党が協力してほぼ2党で議決できることとなります。民主党のあ



りが非常に問われることとなります。現状の環境は、変えられませんが、そこでこれからの立ち位置をどうするのか考える必要があるのでしよう。

議会運営に関しての感想ですが、まだまだ議会運営において改善する必要があると思います。例えば、京田辺市議会においては、スライドなど使って質問を行っています。情報量の違いが歴然と現れます。これからの府議会においても同様なことを行う必要があるでしょう。また、他の議会を見学し良いところを積極的に取り入れることも大事なことだと思っています。

### 6月通常議会で驚いたこと

6月通常議会全体を通して配布された資料です。A4の用紙で積み上げると40cm近くなります。これを読んで理解しなければならないのです。特に重要なのは、予算関連の資料です。歳入は、どこから入り、歳出は、本当に妥当なのか数字から読み取る必要があります。自治体の予算編成は特殊で、一般企業より複雑になっています。

また、視察の重要性を実感しました。7月でも、7回の視察に行きました。現地担当者から説明を受け、今まで想像していたことを、実際現地に行き確かめることで非常に勉強になります。また、現地で確かめることで、政策に大きな違いが出ます。



### 常任特別委員会

## 文化・教育常任委員会・ スポーツ振興特別委員会に所属決定

今年度は、文化・教育常任委員会、そして、スポーツ振興特別委員会に所属し、調査及び管理を担うことになりました。

文化・常任委員会とは、文化スポーツ部の管理及びそれに関連する事項、そして府教育委員会の所管及びそれに関する事項の管

理を行う委員会です。

また、スポーツ振興特別委員会とは、東京オリンピック・パラリンピック、関西ワールドマスターゲーム等の開催を見据え、大規模国際大会に関する誘致活動、競技力の向上や生涯スポーツの推進のための取組、府立スポーツ施設の整備などスポーツ振興に関する施策について調査、管理する委員会です。

各委員会では、参加者一人に20分の質疑応答時間が与えられ、委員会の所管事項内であれば何を質問しても良い事になっています。今回の私は、本会議での質問はなく、各委員会での質問となりました

### 【文化・教育委員会での質問】

**質問1** 昨今、不適格教職員がニュースになることも多いが、不適格教職員への対応方法はどのようになっているのか

**答弁1** 不適格教職員に対する対応方法は、まず、不適格教職員に対して学校で指導を実施し、経過観察を行う。その後も芳しくない教職員に対しては、教育センターなどで再度研修を受け経過観察を行ってから現場復帰させている。

**質問2** 現場の職員に話を伺ったところ、管理職になると責任、責務が多くなり、あま

り教頭等になりたくないとの意見も多く聞こえている。この現状をどう捉えるのか

**答弁2** 一定のレベルに達した教員を教頭などに昇格させているので、現状では問題ないと認識している。なお、教頭や校長に対しての業務軽減を今後も図っていく。

**質問3** 京都府における教職員推薦採用での教職員の評価は

**答弁3** 推薦採用の教職員は、約700名に達している。その中で不適格教職員の割合は、2名となっている。そのことを鑑みて、今の所問題は無いと思われる。推薦採用

試験は、面接と模擬指導を行っている。

### 【スポーツ振興特別委員会での質問】

**質問1** 指導者育成に対しての支援は

**答弁1** 指導者に対する支援は、施設、選手に対する支援よりも極わずかにとどまっている。これからは、指導者にも支援を強化していく。

**質問2** 障害者に対するスポーツに対する支援は

**答弁2** これからパラリンピックなど目標に支援を強化し、一般にスポーツを楽しまれる方々においても同様に支援する予定である。

### 北川たかしの感想

府教育委員会として、もう少し現場で何が起きているのかを把握し、適切な政策を行うべきだと感じました。また、教室という閉鎖的環境での教員の指導評価をどう実施するか今後の課題だと思います。文化・教育委員会の委員として、これから積極的に現場を視察し、より良い教育環境を整えるため、府政に対して提言、改善の要求をしていきます。

また、スポーツ振興に対しては、環境、及び選手に対しては、支援に力を入れていますが、指導者に対する指導技術の向上など現場を見据えた支援が不足しています。指導者の指導技術向上に関しては、予算がないに等しい状態です。スポーツ振興特別委員会の委員として、指導者に対する支援の充実を図り、そして、健常者、障害者ともに充実した環境、指導者に対する支援を府政に対して、提言、改善を要求していきます。

# 北川たかし 視察報告

Takashi Kitagawa inspection report

## 京都大学原子炉実験所視察

大阪府熊取町の京都大学原子炉実験所にある中性子線医学利用(BNCT)施設を視察してきました。BNCTとは、ホウ素中性子捕捉治療のことです。がん細胞に特異的に取り込まれたホウ素が中性子を捕捉することにより引き起こされる核分裂反応を利用し、がん細胞を破壊する治療方法です。がん細胞だけを破壊するため、他の細胞には影響がありません。今のところ研究段階ですので全ての患者さんが治療を受けることができません。現在の主ながんの治療方法には、放射線治療、化学治療、外科手術がありますが、これからの新たな治療方法として、今回視察に伺ったBNCTがあります。



末期のがん患者にも有効な治療方法だそうです。2年前に父親が肺がんで亡くなりましたが、この治療方法が確立されていたらと思うと非常に残念です。これからの研究成果に期待します。

## 奈良県観光局、議会視察

奈良県観光局、ならび奈良県議会を視察しました。今回は、奈良県観光行政を聴くことで、京都府南部、北部の観光行政に対する考え方に参考になりました。奈良県の観光行政方法は、富裕層、外国人観光客誘致戦略を大々的に取っています。例えば、観光戦略には、募集型団体旅行でなく、個人旅行から富裕層をターゲットにしています。一人の消費単価を上げる目的があります。一回限りの旅行でなく、観光客が「滞在したくなる」、「巡りたくなる」、「再び訪れたい」観光地を目指しているようです。今、テレビで放映されている「ナポレオンの村」(高野誠詳氏の「ローマ法王に米を食べさせた男」と同じ方法を行っていると感じました。今回の視察、私の経験から、大きな道路を作ることは、経済活動において大事なことです。観光を考えるとマイナスの要素が多く現れると思います。例えば、京都縦貫道路ですが、京都北部の観光に取っては、日帰りが可能になり、宿泊者が減る可能性があるのです。これらの事を鑑みて、道路整備事業も慎重に考える必要があります。



## 京都市立西京高等学校

7月16日に京都市立西京高校を視察しました。西京高等学校は、『進取(進んでものごとに取り組もうとする気概)・敢為(あえて困難に立ち向かうとする気性)・独創(自由な発想と果敢な実行力)』の校是の下、エンタープライズシップにあふれた、21世紀をリードし未来社会を創造する人材を育成する事を教育指針として取り組まれています。京都市立堀川高等学校に肩を並べる進学校です。視察で校舎を見学している時に、我々に出会えば全ての学生が礼儀正しく挨拶をします。部活動においても優秀な成績を修めています。そして、学問においても、国立大学・私立難関大学の進学率も非常に良いと聞きました。京都市立においては、優秀な高校を作りあげていますが、京都府立においては、一歩出遅れている感じが拭えません。京都府立田辺高等学校も改革しだいで、堀川高校、西京高校のような文武両道の高校に生まれ変わらせる事ができると私は思います。そのためにも、府議会議員として府に対して働きかけたいと思います。

